

平成29年度 第3回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会 【開催概要】

平成 29 年 10 月 30 日（月）19 時より、東松島市役所本庁舎 202 会議室において、市民委員 16 名およびアドバイザー企業 5 社が出席し、平成 29 年度第 3 回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

【内容】

1. 意見交換
～東松島市復興まちづくり計画について～
2. その他 今後の予定について



■意見交換 ～東松島市復興まちづくり計画について～

東松島市復興まちづくり計画の残り 3 年（平成 30 年度～平成 32 年度）における市の復興まちづくりの方向性について、委員が意見交換を行いました。具体的には、「心のケア・支えあいのまちづくり」「地域との連携による教育環境の確立」「旧野蒜駅周辺の土地の有効活用」の 3 テーマについて、市の担当職員等より最新状況等の情報提供を行った上で、復興の現状について評価できることや課題・不安に感じる点、今後 3 年間の復興のなかで特に大切にしたいことについて、委員が市民からの目線で意見を出し合いました。

◇今後特に力を入れて取り組むべきことについて（一部意見を要略）

- ・地域包括ケアシステムは、市民自らができる役割を担うことが大切である。今後は高齢者だけでなく多世代を対象に心のケアも含めた取組を展開してほしい。
- ・コミュニティ・スクールは、地域の方たちが、自分たちで子育てをしていると実感できるよう、継続して関わっていくことが重要であり、その仕組みづくりをしっかりと行ってほしい。
- ・被災元地をいかに生産性の上がる用途とし、いかに交流人口・定住人口の増加につなげていくかが課題。
- ・「希望の大麦プロジェクト」は素晴らしい取組であるが、市民への周知は不足していると感じる。販売場所を増やしたり、他の地場産品とのセット販売を行うなどして販促を図ってはどうか。



※詳細は、別紙会議記録をご確認ください。

作成：東松島市復興まちづくり計画市民委員会事務局